

第 2 期 宮崎市地方創生総合戦略 及び
 第 2 期 みやざき共創都市圏ビジョンの概要 (案)
 (変更箇所)

第 2 期「宮崎市地方創生総合戦略」と第 2 期「みやざき共創都市圏ビジョン」は、毎年度、次年度の取組を反映するかたちで改訂している。

両計画の主な改訂 (案) の内容は、次のとおりである。

1 第 2 期宮崎市地方創生総合戦略 (総合戦略編)

令和 4 年度当初予算案など、来年度の本市の取組を反映するため、基本的方向及び施策の概要を次のとおり見直している。

(1) 総合戦略における基本的な考え方

現行	改訂 (案)
<p>1 総合戦略における基本的な考え方 (略)</p>	<p>1 総合戦略における基本的な考え方 (略)</p> <p><u>総合戦略の冊子 P 2</u></p> <p>(5) 脱炭素化施策の推進</p> <p><u>本市においては、令和 3 年 (2021 年) 8 月に、「2050 年ゼロカーボンシティみやざき」を宣言し、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを目指している。</u></p> <p><u>地域資源を有効活用して再生可能エネルギーを導入するなど、脱炭素化の取組を積極的に推進していく。</u></p> <p>(6) 地方創生テレワークの推進</p> <p><u>地方にいながら都会と同じ仕事ができるようになれば、地方移住の拡大が期待できると考えられている。本市においても「転職なき移住」とも言うべき画期的な働き方を実現するため、地方におけるサテライトオフィスでの勤務など、地方への新たなひとの流れを創出するテレワークを推進していく。</u></p>

(2) 基本的方向

現行	改訂 (案)
<p>5 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」</p> <p>基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) ■ (略) 	<p><u>総合戦略の冊子 P26</u></p> <p>5 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」</p> <p>基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) ■ <u>近年の情報通信技術やロボット技術の発達を受け、それらの実装化に向けた調査・研究を行い、農林水産業分野のスマート化を推進する。</u> ■ <u>地方創生テレワークなど、地域外から知識・ノウハウを持った人材や企業を受け入れることにより、『人』と『知』の流れを創出し、地域経済の活性化を官民連携で推進する。</u>
<p>6 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」</p> <p>基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) 	<p><u>総合戦略の冊子 P32</u></p> <p>6 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」</p> <p>基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) ■ <u>デジタル技術（地方創生テレワークやサテライトオフィスの整備等）の活用により、地理的・時間的な課題の解決を図る。</u> ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ <u>デジタル技術の活用により、地域の稼ぐ力を高めながら、地域経済を活性化し、持続可能な経済社会の実現を図る。</u>

2 第2期みやざき共創都市圏ビジョン

第2期「みやざき共創都市圏ビジョン」は、第2期「宮崎市地方創生総合戦略」との整合や位置付ける事業を踏まえ、第2期「宮崎市地方創生総合戦略」と同様に、事業名や事業概要のほか、予算額などを見直している。